

## 授業改善等に関する報告書（2025 年前期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2025（前期）教職課程】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
教職入門	市毛 祐子	皆さんが、どのような教師を目指すのか、教職に就いたら何をしたいのか、自分なりの軸をもって欲しいという願いを込めて、教育現場の事例、教育の最新の動向等を取り上げながら、教職のイメージが湧くように授業を進めてきました。また、グループ研究を通して共通の課題に取り組むことで、皆さん自身が、協働性、同僚性とは何かを実感することができたのではないでしようか。今後も、最新の教育の動向やトピックを取り上げながら、資料の提示の仕方や授業の進め方についても工夫・改善をしていきます。皆さんも、この授業で学んだことを生かして、ますます教職への意欲を高めて欲しいと願っています。
生徒・進路指導論	早尾 美子	アンケートにご協力ありがとうございました。いただいたご意見・要望については、今後、改善に活かせるように努めていきたいと思います。 本講義「生徒・進路指導論」は、改訂された『生徒指導提要』を中心に、アクティブラーニングで自身が考えながら学び修得できるように、また実際の現場で活かせるようにリフレーミングやカウンセリング体験を入れた内容としました。ペア・グループセッションを重ねるたびに、みなさんの課題に取り組む姿勢やコミュニケーションの高まり、後半のポスター発表でさらに成長を感じました。アンケートでも、資料のまとめる力やコミュニケーション力がついたという意見があり、みなさんの実感が伝わってきて嬉しく思います。 教育現場で「指導」する際は、生徒への寄り添い方や一人で抱え込まず多職種連携が重要であることや教員自身の自己肯定感も大切であることが理解していただけると嬉しいです。 課題として、資料の見やすさについて、今後改善していきたいと思います。ご意見ありがとうございました。
生徒・進路指導論	早尾 美子	アンケートにご協力ありがとうございました。いただいたご意見・要望については、今後、改善に活かせるように努めていきたいと思います。 本講義「生徒・進路指導論」は、改訂された『生徒指導提要』を中心に、アクティブラーニングで自身が考えながら学び修得できるように、また実際の現場で活かせるようにリフレーミングやカウンセリング体験を入れた内容としました。ペア・グループセッションを重ねるたびに、みなさんの課題に取り組む姿勢やコミュニケーションの高まり、後半のポスター発表でさらに成長を感じました。アンケートでも、みなさんの実感が伝わってきて嬉しく思います。 ただアクティブラーニングに重きを置いたため、知識としてしっかり定着することが難しかったかもしれませんので、そこについては、課題として今後よりと良き方策を考えていきます。まずは事後学習の内容を講義のポイントを中心に振り返られるように改善にしていきたいと思います。
生徒・進路指導論	早尾 美子	アンケートにご協力ありがとうございました。いただいたご意見・要望については、今後、改善に活かせるように努めていきたいと思います。 本講義「生徒・進路指導論」は、改訂された『生徒指導提要』を中心に、アクティブラーニングで自身が考えながら学び修得できるように、また実際の現場で活かせるようにリフレーミングやカウンセリング体験を入れた内容としました。アンケートでも、相手にわかりやすく伝えられるように、考えることを整理する力を身に着けることや生徒に指導する際に相談に乗る際の注意点や方法について知識が増えたとあり、嬉しく思います。 ただ、理解できなかった、資料等がわかりにくかったという回答がありました。講義内容についてもっとわかりやすく改善しなければと重く受け止めて改善したいと思います。 また、学生の皆さんへの接し方についてもご意見いただきました。何回も確認、活動の説明など細かく指示していたが、そこまで必要なく大学生として扱って欲しいという内容がありました。これについても、私自身の言動を改善していきたいと思います。貴重なご意見、ありがとうございました。
生徒・進路指導論	村木 晃	教職科目の性格上、少数の受講学生による講義が可能となり、学生一人一人の顔を注視し理解度や関心度を確認しながら進められた。また、可能なかぎり参加型の講義を目指して、グループワークや個別の発言を求める機会を多数設定した。そのため個々の学生が、教育界での出来事や問題を「自分事」として捉えて自己の経験を語ってくれるシーンが多数あったし、「先生になったら」との設定で自己の将来に結びつけて考察してくれていた。その語りがとても魅力的・個性的で興味深く、かつ「楽しい」ものであったため全体を巻き込む話題提供にもつながったと考える。このことがアンケート結果にも表れているかと思われる。 ただし、講義内容の進行度はどうしても遅くなってしまい、扱うべき内容の一部には触れられないままであった。および、予習時間が少ない実態については、前週にグループワークや質問等の課題提示をしておけば予習時間も確保でき内容も更に深められたかと考えると反省事項は多い。 今回の受講生の多くに見られた問題意識の高さや教職への思いの強さ等を今後に活かしていくためにも、教科指導の力を向上させていく努力を継続し、生徒指導全般の力としていつていただきたいと思います。

[2025（前期）教職課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
教育実習 A	新村 紀昭	<p>本講座は、学校運営や教科指導、学級経営、生徒指導等の指導方法、教職員との関係づくり等、円滑で有意義な教育実習に向けた基本的な心構えや態度について学修し、実習後には、体験を振り返り課題整理と改善策の考察を通して、教職に対する実感を伴う理解を深めました。</p> <p>授業評価では、80%の受講生が自己の成長や授業への取組を強く実感できたとしていますが、授業の理解度については、十分理解できたが50%であり、今後は可能な範囲で個々の実習期間に合わせた学習内容の精選や指導の工夫をしていきたいと思います。</p>
教育実習 A	新村 紀昭	<p>本講座は、学校運営や教科指導、学級経営、生徒指導等の指導方法、教職員との関係づくり等、円滑で有意義な教育実習に向けた基本的な心構えや態度について学修し、実習後には、体験を振り返り課題整理と改善策の考察を通して、教職に対する実感を伴う理解を深めました。</p> <p>授業評価では、75%の受講生が自己の成長や授業への満足度を強く実感できたとしていますが、30%程度がやや説明の分かりにくさを感じたようなので、今後は分かりやすい板書の工夫や資料の作成・提示に努めていきたいと思います。</p>
教育実習 A	新村 紀昭	<p>本講座は、学校運営や教科指導、学級経営、生徒指導等の指導方法、教職員との関係づくり等、円滑で有意義な教育実習に向けた基本的な心構えや態度について学修し、実習後には、体験を振り返り課題整理と改善策の考察を通して、教職に対する実感を伴う理解を深めました。</p> <p>授業評価では、全員が自己の成長を強く実感できたとしており、授業への満足度も75%の受講者がとても満足としていますが、授業の理解度については、十分理解できたが50%であり、今後は個々の実習期間に合わせた学習内容の精選や指導の工夫をしていきたいと思います。</p>
教育実習 A	市毛 祐子	<p>教育実習を行う前は、研究授業や学級経営等、様々な不安を抱えていたことと思いますが、いざ実習がスタートすると、自身のもつ力を最大限に発揮してくれて、大変頼もしく思っています。また、実習後の体験報告会では、それぞれの報告に聞き入り、積極的に質問する姿から、皆さんが実習を通して自信をつけ、大きく成長した様子がうかがえます。今後は、実習を終えた充実感や達成感にとどまらず、今回学んだことを活かし、理論と実践の往還ができるよう、学び続ける姿勢を持ちましょう。</p>
国語科教育法（１）	枝村 晶子	<p>本授業のねらいは高等学校国語科教員として求められる資質・能力について理解することでした。そのために現在の高等学校国語科の授業について知り、自分の課題を見付けていくことを目指しました。</p> <p>学習指導案を作成してそれを人にわかりやすく説明できること、また他の人の発表を聞き自分の学びとしてとらえてもらいました。皆さんとても意欲的に取り組みました。</p> <p>分析結果を見ると、理解度・意欲共に良好で、本授業の目的は達していたと思います。ただ学習指導案に書いた手書きの文字が読みづらかったようなので丁寧に記述するようにします。</p>
国語科教育法（２）	枝村 晶子	<p>本授業のねらいは高等学校国語科教員として求められる資質・能力について理解することでした。そのために現在の高等学校国語科の授業について知り、自分の課題を見付けていくことを目指しました。</p> <p>実際に模擬授業を行い、授業のねらいやそれを人にどうわかりやすく興味をもって伝えていくか、また他の人の模擬授業を受け、自分の学びとしてとらえてもらいました。皆さんとても意欲的に取り組みました。</p> <p>分析結果を見ると、理解度・意欲共に良好で、本授業の目的は達していたと思います。</p> <p>後期は多くの前期の受講者の皆さんとご一緒できるようなので模擬授業の時間を増やす等の工夫を行い皆さんが更に成長できる授業を構築していきます。</p>
英語科教育法（１）	中山 誠一	<p>みなさん、前期お疲れ様でした。</p> <p>授業内のやりとりについて「少しわかりづらい」とのご意見をいただきました。今後は、みなさんがよりスムーズに学べるよう、改善に努めてまいります。</p>
家庭科教育法（１）	市毛 祐子	<p>今回は、はじめて模擬授業を行いました。教える側の立場になって、多くの発見があったことと思います。まず、良い授業をするためには、自分自身がしっかりと内容を理解し自分の言葉で説明できるように教材研究を入念に行う必要があります。テキストとして使用した、中学校と高等学校の教科書に記載されていることだけではなく、より深い理解が必要です。これからも事前・事後学修をしっかりと行い一層勉学に励み、授業力の向上を目指しましょう。私も皆さんに家庭科の魅力を伝えることができるよう授業の進め方等について工夫・改善していきます。</p>

【2025（前期）教職課程】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
家庭科教育法（２）	市毛 祐子	実際に模擬授業をしてみて、授業をするためには、その何倍もの準備が必要であることを実感したと思います。と同時に他の人の模擬授業を受けることで多くの学びを得たことと思います。これからも貪欲に新しい知識や授業のスキルを身に付け、授業力の向上に努めましょう。私も、さらに家庭科の魅力を皆さんに伝えることができるよう、授業の進め方について工夫・改善をしていきます。
社会科・公民科教育法（１）	高岡 麻美	授業アンケート結果から、授業を通して、「社会科とは」「社会科指導とは」等を深く考えることができ、自分自身の成長に大いに役立ったと考えた人が多かったことがわかりました。そのことは、皆さんが毎時間頭を悩ましながら、一生懸命学んだ成果だと思います。皆さんのアンケートからも、「スピーチが大変だったけれど勉強になった」「社会的な見方・考え方を鍛えることができた」「世の中の見方が変わった」等の前向きな感想が聞かれました。皆さん自身が「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力」をこれからも伸ばしつつ、学び続けてください。
教職研究 a	新村 紀昭	<p>本講座は、教育や学校を取り巻く諸問題、教師や児童・生徒に関する今日的な課題について、資料等に基づいて背景や問題点を把握し理解を深めるとともに、解決に向けた方策を多様な視点から考察し、教職を目指すにあたって幅広い視野や識見が身に付くようにしました。</p> <p>授業評価では、44%の受講生が自己の成長や授業満足度を強く実感できたとしていますが、理解度については22%がまあまあ理解したとしています。今後は、感想にもあったように受講者同士の協議の機会や時間をさらに増やすなどの授業改善を進め、実感を伴う理解度が深まるよう工夫していきたいと思います。</p>
教職研究 b 月曜配信（渋谷）	柏崎 秀子	「授業の内容と方法」「全体について」のいずれも非常に高い評価となり、手応えを感じています。なお、授業スピードに関してだけは平均的な値と同等で、確かに、採用試験の受験に向けて、全領域を押さえたいと進めて行った感はありましたが、皆さんが意欲的に取り組んでくれて、素晴らしかったです。自由記述でも「頭に入れやすい、まとめやすい」と書かれていたことから、引き続きこの進め方で、一層励んでいきたいです。
教職研究 b 火曜配信（日野）	柏崎 秀子	「授業の内容と方法」「全体について」のいずれも非常に高い評価となり、資料の見やすさも特記してくれていて、手応えを感じています。なお、質問のしやすさについてだけは、平均的な値と同等で、確かに、採用試験の受験に向けて、全領域を押さえることに主眼が置かれてましたが、皆さんが意欲的に取り組んでくれて、素晴らしかったです。自由記述でも「取り組むべき課題に気づいたり、学んだ知識を応用して教育に活かす」などからもその積極的な学びの様子がうかがえ、うれしい限りです。なお、オンデマンド型の授業のため、毎回の小テストの提示の仕方について詳細を詰めて、改善したいと思います。
児童・生徒栄養教育論（１）	白尾 美佳	児童生徒栄養教育論では、皆さん方がよりよい食育指導ができるように成長できてきたかと思います。まずは、給食前指導の練習の成果を拝見したいと思います。
発達・学習心理学	佐藤 典子	<p>本科目は、今年度から担当させていただくことになり、初日には機材トラブル等もありましたが、その後は予定していた内容について、特に問題なく提示できたと思います。講義中心で進めていきましたが、ほぼ毎回知識確認の小課題を実施しました。また、特定のテーマについてはグループワークも取り入れてみました。</p> <p>双方向授業の実施に関しては、manabaの使い方にもう少し慣れて、今後より有効な活用法を目指したいと思います。</p>
発達・学習心理学	柏崎 秀子	「授業の内容と方法」「全体について」のいずれも高めの評価で、特に、聞き取りやすかったようですし、自由記述でもほぼ全員が「理解や関心が深まった」と書いていて、手ごたえを感じました。また、授業方法についても具体的に「毎回の授業で復習・予習の時間があって理解しやすい、や学生同士の話し合いや身振りの活用などによって、対面での学びの大切さを感じてくれていて、引き続きこの路線で進めて行きたいと思います。
発達・学習心理学	柏崎 秀子	「授業の内容と方法」「全体について」のいずれも平均的な値でしたが、実に多くの学生が自由記述で、理解が深まったことを述べてくれ、それも単に知識が増えるにとどまらず、その背景や過程を認識したり、自分自身と関連付けたりなど、深い学びができていたことを知り、感慨深いです。学生同士で話し合う時間の設定も意欲的な学びにつながったようで、やりがいを感じました。
発達・学習心理学	柏崎 秀子	「授業の内容と方法」「全体について」のいずれもほぼ平均的な値でしたが、スピードの点でもう少しゆっくり進めた方がよさそうだと感じました。毎回の小テストによって自分の理解度が確認できたり、説明で例示が多くて想像しやすかったりと、具体的な方法は引き続きこの線でいけるように思いました。ただ、どうも先輩から妙な事実無根な話を聞かされて信じ込んでいた学生もいたようで、様子をきめ細かく見ていく必要を感じました。

【2025（前期）教職課程】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
発達・学習心理学	柏崎 秀子	「授業の内容と方法」「全体について」のいずれも、残念ながら、平均よりも低い評価であったため、改善点を確認すべく自由記述を見たところ、問題点の指摘は全く無く、むしろ、「理解が深まったり、プリントの形式がわかりやすいのでこの形を続けてほしい」などの前向きなコメントが書かれていたことから、今後は現状の進め方を続けつつも、学生の反応をよく見ていくよう心掛けたいです。